

令和5年度
学校だより

いきいき北川根

第15号
令和5年9月25日
笠間市立北川根小学校

6年生 台湾の溪口(シーコウ)小学校児童の皆さんと対面で交流

20日(水)、台湾台北市から、溪口小学校の4~6年生児童24名が引率の校長先生と担任の先生、一部保護者の方の引率のもと、本校に来校しました。溪口小学校とは、昨年度、現6年生が英語の学習で3回のオンライン交流を行いました。今回、対面での交流が実現し、大変感慨深いものとなりました。



当日、6年生児童は、手作りの台湾国旗の小旗を振ってお迎えしました。その後、体育館で小グループに分かれ、英語で自己紹介や簡単な会話をしたり、英語カルタや折り紙、体を動かすゲームをしたりしました。中でも、「じゃんけん列車」は大変盛り上がり、みんな満面の笑顔で楽しんでいました。また、子供たちは溪口小学校の皆さんから、授業で製作した手作りキーホルダーの他、たくさんのプレゼントを頂き感激していました。学校に対しても、溪口小学校の校長先生より、今回の交流に対する感謝のメッセージをたくさん伝えていただきました。そして、感謝と友好の証にと、記念の品を頂戴しました。

6年生は、「溪口小学校の皆さんに楽しんでもらうためにはどのような内容にしたらよいか」と、担任の先生と一緒に考え、準備を進めてきました。開閉会式やゲームの説明等において堂々と役割を果たす姿、各グループの活動においても覚えた英語を使って積極的にコミュニケーションをとる姿が見られました。

グローバル化の時代に生きる子供たちにとって、豊かな国際感覚を養うことはとても重要なことです。これからも、本校では英語教育を含めた国際理解教育を大切にしていきたいと考えています。



創立150周年記念事業 航空写真撮影

15日(金)、素晴らしい青空の下、創立150周年記念事業の一企画である航空写真の撮影を行いました。航空写真の図案は、記念キャラクターやスローガンと同様に、児童に募集したものから投票で決定しました。記念キャラクターの「さくらっきー」とスローガンがカラフルに描かれた、とても可愛い図案が採用されました。



2校時、業者の方の説明を受け、児童と職員で色とりどりの工作用紙を頭の上に持ち、引いてあるラインの上に直立して並びました。撮影用のドローンが旋回する「ブーン」という音をワクワクした気持ちで聞きながら、共同作業をみんなで頑張りました。どのような写真が出来上がるのか、とても楽しみです。



※購入に関する詳細につきましては、本日記付の別紙チラシと購入申込み用封筒をご覧ください。

4・5年生 アンガーマネジメント

現在、笠間市子ども育成支援センターの臨床心理士の先生方を講師にお迎えして、思春期を迎える4・5年生を対象にアンガーマネジメントの授業を行っています。

「アンガーマネジメント」とは、怒りを衝動的な言動につなげないために感情のコントロール方法を学ぶことで、よい人間関係を築いていくことを目指しています。アンガーマネジメントを社員研修に導入している会社も増えていますが、文部科学省ではアンガーマネジメントを「感情理解教育」と訳し、児童生徒に推奨しています。

本校では9月から11月までの期間で全5回を予定しており、20日(水)は2回目を終了しました。どの学級の子供たちも真剣に話を聞き熱心に授業に取り組んでいます。アンガーマネジメントを継続して受けることで、子供たちが自分の感情を友達や家族、先生などに適切に伝えるスキルを学び、上手にコミュニケーションがとれるようになることを期待しています。

